

2012 年 11 月 1 日

会員各位

日本農業経済学会  
会長 新山 陽子

## 2013 年度日本農業経済学会大会のお知らせ

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

2013 年度の日本農業経済学会大会を下記の要領で開催いたします。この大会では、一日目にシンポジウム、二日目にミニシンポジウム、個別報告、特別セッションを行います。多数のご参加をお願いいたします。

口頭及びポスターによる個別報告、特別セッションの申し込み手続きについては、学会ホームページ (<http://www.aesjapan.or.jp/>) の「申込要領・発表要領」を参照して、2012 年 12 月 19 日(水)17:00 までに、必要書類を日本農業経済学会事務局（財団法人 農林統計協会内）へ電子メールまたは郵便でお送りください（詳細は後述のとおり）。

また、円滑な大会準備のため、要旨集印刷部数や懇親会参加人数の把握などにご協力ください。同封はがきの「大会参加及び個別報告意向調査」に必要事項を記入の上、2012 年 12 月 7 日(金)までに、学会事務局（(財) 農林統計協会内）宛に返送していただくようお願いします。

### [1] 日程及び会場

日程：2013 年 3 月 29 日（金）、30 日（土）

会場：東京農業大学 世田谷キャンパス 百周年記念講堂、1 号館教室

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

#### <大会受付>

3 月 29 日 百周年記念講堂 2 階ロビー

3 月 30 日 1 号館 1 階ロビー

#### <大会>

3 月 29 日 百周年記念講堂

開催校挨拶 9:30 ～ 9:35

会長挨拶 9:35 ～ 9:50

シンポジウム「農業経済学の分析力 9:50 ～ 17:30

—農業経済学は市場をどう捉えてきたか—

総会・学会賞表彰 13:00 ～ 14:00

懇親会 レストラン「すずしろ」、カフェテリア「グリーン」 18:00 ～ 20:00

3 月 30 日 1 号館教室

ミニシンポジウム 調整中

個別口頭報告 9:30 ～ 未定

個別ポスター報告（ショート・スピーチと審査） 午前を予定

（閲覧者への対応） 12:00 ～ 13:00

（ポスター賞授与式） 未定

特別セッション 9:30 ～ 未定

<諸会議>

3月28日

正副会長等会議 18号館2階 1823教室

17:00 ~ 18:00

理事会 同上

18:00 ~ 20:00

3月30日

農業経済学関連学会協議会 1号館3階324教室

17:30 ~ 19:30

[2] 参加費（当日受付）

1. 大会参加費： 3,000円
2. 懇親会費： 5,000円（学生会員3,000円）

[3] 大会に関する問い合わせ

「日本農業経済学会事務局（（財）農林統計協会内）」

担当：（学会全般）武石、（入会・会員番号等）藤本

電話：03-3492-2988 Fax：03-3492-2942 メールアドレス：aesj@aafs.or.jp

ホームページ：http://www.aesjapan.or.jp

「2013年度日本農業経済学会大会実行委員会」

委員長：友田清彦 事務局：北田紀久雄（事務局長）、寺内光宏（庶務担当）、

菅沼圭輔（渉外担当）、井形雅代、板垣啓四郎、稲泉博己、岩本博幸、大久保研治、

金田憲和、上岡美保、菊地昌弥、小島泰友、小島庸平、五條満義、渋谷住男、

杉原たまえ、鈴木充夫、鈴木源太郎、高柳長直、高根 務、立岩寿一、田中裕人、

土田志郎、中曽根勝重、野口敬夫、平尾正之、堀田和彦、望月洋孝

（連絡先）〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1

東京農業大学国際食料情報学部食料環境経済学科事務室

電話：03-5477-2359 Fax：03-5477-2621

※個別報告（口頭報告、ポスター報告）、特別セッションの申し込みや新規入会については、日本農業経済学会事務局に問い合わせてください。

[4] シンポジウム（3月29日）

1. 全体テーマ「農業経済学の分析力ー農業経済学は市場をどう捉えてきたかー」

座長 福田 晋（九州大学大学院農学研究院）

近藤 巧（北海道大学大学院農学研究院）

報告

- 1) 農地集積と農地市場

有本 寛（一橋大学経済研究所）・中嶋 晋作（明治大学農学部）

共同討論者 盛田 清秀（東北大学大学院農学研究科）

- 2) 実需者市場としての農産物市場ー農業と食品産業の関係性ー

森高 正博（九州大学大学院農学研究院）

共同討論者 佐藤 和憲（岩手大学農学部）

- 3) 通商規律と市場機能ー農産物国際市場の変容ー

齋藤 勝宏（東京大学大学院農学生命科学研究科）

共同討論者 前田 幸嗣（九州大学大学院農学研究院）

## 2. シンポジウムのテーマについて

近年の大会シンポジウムの全体テーマは、政策・制度論や国際化・グローバル化と日本農業などの時事問題が中心であり、1986～2010年度の25回のうち、時事問題が17回を占めている。これに対して、2000～2001、2011～2012年度の4大会は、日本農業が拠って立つ基礎的条件の普遍性と変容に焦点を当てた中長期的なテーマを扱っている。

こうした中で、コメの関税化や農地流動化仮説をめぐる論争のように、学会全体が学派を超えて議論を展開するような、かつての熱気は沈静化しつつある。コメの関税化や農地流動化の論争を支えたのは豊富な実証分析であり、時事問題であれ基礎的条件の検討であれ、実証による批判的検討を重ねてきたことが農業経済学会の特徴であった。しかし、最近はこの学会が誇るべき実証部分が手薄になっており、その意味では閉塞的状况にさしかかっているといえる。

今回の大会シンポジウムでは、2000年度以降の4大会で取り上げられた「日本農業のベースライン」と、近年のシンポジウムで頻繁に議論されている政策論など、いわば「日本農業のフロントライン」との橋渡しとなる研究課題を設定する。それらの課題に対する農業経済学のアプローチについて、市場の捉え方という観点から批判的に検討を加え、実証分析を中心に成果と限界を整理する。その上で、今後の研究の方向性についての展望を示すことを課題としたい。

具体的に、農地市場、国内農産物市場、国際農産物市場の3つの市場を課題の対象とした。いずれも日本農業を規定してきた重要な市場であり、今後の政策展開とも関わりの深い市場である。それぞれベテランの研究者が重厚な業績を残している。今日の学会の水準がこうした研究に支えられて構築された事実については、その恩恵に浴している学会員は十分に認識しているはずであるが、その一方で、恩恵に浴するばかりでは閉塞的状况の打破は困難であることもまた事実である。その意味で、今回の大会シンポジウムでは、閉塞的状况に新風を吹き込むべく気鋭の若手研究者に報告をお願いした。同時に、従来のコメンテーターを共同討論者として位置づけ、それぞれの立場から報告者の報告内容を補完し、対立軸を含めた論点を抽出するという重要な役割を担ってもらう。そのため、共同討論者への時間配分を考慮して、報告数を3報告に留めた。

第1報告では農地の流動化と集団化・団地化という2つの農地集積問題に焦点を当て、農地市場に関わる実証分析がどのような市場を想定して何を議論してきたのかという観点から話を展開する。農地市場については、完全競争市場を前提とした捉え方が大勢を占める一方で、市場の不完全性に着目した研究もあり、両者の関係と帰結を整理する。その上で、農地市場に特徴的な「市場の薄さ」がもたらす問題を検討し、農地集積に向けた政策介入について今後の研究の方向性を展望する。

第2報告は、今日、食料需給を論ずる上で無視できない食品産業などの実需者市場に焦点を当てた報告である。周知のように、この間、農業サイドは農協系統組織を主とする大型産地を形成してきた。一方、食品産業も実需としての外食・中食や、大型量販店の拡大を通じて寡占的な市場構造を強めてきた。こうした状況の中で、卸売市場を核とした従来の完全競争的な市場構造は、もはや実態の多くを反映しておらず、不完全競争市場における契約取引を体現した分析枠組みの構築が望まれる。今後の農産物市場分析の方向性を展望するため、新たな分析枠組みのもとで実証研究の可能性を探る。

第3報告は農産物の国際市場を対象とした報告である。「WTO規律の下で関税及び関税相当措置を削減することが経済厚生を増加させる」という完全競争市場を前提とした議論に対して、貿易上の大国、外部経済、価格の硬直性、賃金格差、独占、国内保護政策などの要因が農産物貿易市場をどのように歪め、それで経済厚生が増加がどのように抑制されるかを整理して、農業の国際化に関わる実証方法と課題について展望する。

時間制約の範囲内ではあるが、報告者、共同討論者、フロアの三者が忌憚なく議論できるようなシンポジウムを目指したい。

## [5] ミニシンポジウム（3月30日）

### 1. 全体テーマ「食品の放射能汚染の実態と流通業者・消費者の対応」

座長 平尾 正之（東京農業大学国際食料情報学部）

清水 みゆき（日本大学生物資源科学部）

報告

1) 菊地 昌弥（東京農業大学国際食料情報学部）

2) 大木 茂（麻布大学獣医学部）

3) 氏家 清和（筑波大学大学院生命環境科学研究科）

4) 半杭 真一（福島県農業短期大学校）

### 2. ミニシンポジウムのテーマについて

震災による食品の放射能汚染問題は、学会として継続的に取り組むべき社会的課題として、その重要性が認識されるところである。今回の大会シンポジウムが時事問題を直接に取り上げていない点を考慮して、この部分をミニシンポジウムで補完したい。

## [6] 個別報告（口頭報告、ポスター報告）

### 1. 個別報告の種類と制限

個別報告は「口頭報告」と「ポスター報告」の2つに分けられますが、両方に同じタイトルや内容で申し込むことはできません。また、異なるタイトルや内容の報告であっても、筆頭報告者は、個別報告全体で1報告に制限することとしています。

### 2. 会員要件

報告者の会員要件について、少なくとも1名は申し込みの段階で本学会員でなければなりません（報告申請書に会員番号を記入する必要があります）。非会員の場合、少なくとも1名は、個別報告の申し込み前に学会ホームページの「入会申請フォーム」で入会手続きを済ませてください。

ただし、個別報告後に『日本農業経済学会論文集』（『農業経済研究』別冊。以下、『学会論文集』）へ投稿する場合は、筆頭著者は本学会員でなければなりません。そのため、『学会論文集』へ投稿を予定している場合は、まず、筆頭著者自身が会員となっておく必要があります。なお、『学会論文集』へ投稿する時点で筆頭著者を変更することは避けてください。

### 3. 申し込み方法

申し込みについては、口頭報告、ポスター報告ともに、学会ホームページの「2013年度大会 個別報告申込要領・発表要領」を参照の上、12月19日(水)17:00までに、3点の書類（①報告申請票、②報告要旨、③報告論文）を電子メールまたは郵送で学会事務局（(財)農林統計協会内）に提出してください。③報告論文は、学会ホームページ掲載の「日本農業経済学会論文集投稿規定」、または2011年度『学会論文集』末尾掲載の「投稿規程」にしたがって作成してください。

「申込要領・発表要領」の郵送を希望する場合は、送付先を明記の上、「申込要領・発表要領の郵送希望」と書いて、学会事務局（(財)農林統計協会内）へハガキまたはメールで申し込んでください。

### 4. 口頭報告について

1) 口頭報告の報告時間（質疑含む）は25分を予定しています。ただし、報告数によって変更する場合があります。

2) プロジェクターを用いる場合のプレゼンテーション用ファイル（PDFファイルのみ受け付けます）は、2013年3月12日(火)17:00までに電子メールで学会事務局（(財)農林統計協会内）へ送付してください（USBメモリ等の郵送も可能）。なお、送付後のファイルの差し替えは認められません。

## 5. ポスター報告について

- 1) ポスター報告は、プログラムで指定された時間に行う報告（10 分間：7 分間のプレゼンテーションと 3 分間の質疑応答）に加えて、昼休みに閲覧者へ説明・討論を行うことが義務づけられています。この両方を適切に行ったことを企画委員会が確認できた場合に限り、ポスター報告を行ったものと認めます。
- 2) ポスターの内容と当日のショート・スピーチを審査した上で、ポスター賞を授与します。
- 3) ポスターの作成は、学会ホームページ「個別ポスター報告申込要領」の別紙 2「ポスター作成要領」にしたがってください。サイズは A ゼロ判を厳守してください（複数枚を貼り合わせたものでも構いません）。

## 6. 『学会論文集』への投稿

口頭報告とポスター報告は『学会論文集』に投稿することができます。『学会論文集』への掲載が受理された場合は、所定の掲載料を発行前に納入する必要があります。

## 7. 注意事項

個別報告の申し込みに当たり、3 に定める提出物に不備があった場合、報告をお断りします。3 に定める②報告要旨や③報告論文については、例年、分析途上で結論が得られていない予告編のような要旨や論文が散見されますが、申し込み段階で論文として完成していることが受理の要件となっています。この点を厳格に審査し、論文として未完成な原稿は形式的に不備なものとして受け付けないこととしますので、十分に留意してください。また、口頭報告からポスター報告へ（もしくはその逆の）変更を依頼することがあります。

## [7] 特別セッション

### 1. 特別セッションについて

特別セッションは、研究グループによる共通テーマの下で、複数の研究報告と討論、及び会場参加者との質疑を行う研究発表の場です。座長もグループ内で定めます。グループで進めている研究の成果を公表したい場合等に、このセッションを活用してください。

### 2. 会員要件

特別セッションの場合、代表者は本学会員であり、報告者は、報告後に『学会論文集』へ投稿する場合を含め、個々の報告について「個別報告」と同様の会員要件を満たす必要があります。座長、コメンテーターについては、特に制約はありません。

### 3. 報告時間

報告者及びコメンテーターの人数や時間配分等は代表者に任されますが、セッション全体を 1.5 ～3.0 時間程度に収めてください。

### 4. 申し込み方法

特別セッションを希望するグループは、[6]個別報告の申し込みと同様、3 点の書類（①報告申請票、②報告要旨、③報告論文）の全報告分と、④セッション全体の要旨（1 ページ以内。代表者、座長、報告者、コメンテーターの氏名と所属、全体テーマ、各報告タイトルを明記したもの）、⑤希望所要時間（1.5～3.0 時間を目安とする）をまとめて、12 月 19 日（水）17:00 までに電子メールまたは郵送で学会事務局（（財）農林統計協会内）に提出してください。③報告論文は、学会ホームページ掲載の「日本農業経済学会論文集投稿規定」、または 2011 年度『学会論文集』末尾掲載の「投稿規程」にしたがって作成してください。必要書類を受領後、「個別報告」と同じ基準で、個々の報告及び全体を審査します。なお、審査に通ったセッションでも、時間の短縮をお願いする場合があります。

## 5. 『学会論文集』への投稿

特別セッションで報告された個々の論文は、『学会論文集』へ投稿することができます。審査方法は個別報告と同様です。『学会論文集』への掲載が受理された場合は、所定の掲載料を発行前に納入する必要があります。

## 6. プロジェクターを使用する場合

プロジェクターを用いる場合のプレゼンテーション用ファイル（PDF ファイルのみ受け付けます）は、2013 年 3 月 12 日（火）17:00 までに電子メールで学会事務局（（財）農林統計協会内）へ送付してください（USB メモリ等の郵送も可能）。なお、送付後のファイルの差し替えは認められません。

## 7. 注意事項

特別セッションの申し込みに当たり、4 に定める提出物に不備があった場合、報告をお断りします。4 に定める②報告要旨や③報告論文については、申し込み段階で論文として完成していることが受理の要件となっています。この点を厳格に審査し、論文として未完成な原稿は形式的に不備なものとして受け付けませんこととしますので、十分に留意してください。

## [8] 大会期間中の保育室設置について

本大会で学会員向けに保育室の設置を検討しています。利用を希望される方は、同封はがきの「大会参加及び個別報告意向調査」に必要事項を記入の上、学会事務局（（財）農林統計協会内）へ 12 月 7 日（金）までに返送してください。利用希望の状況がまとまった段階で、設置・運営方法を相談いたします。

## [9] 今後のスケジュール

現時点における今後のスケジュールは以下のとおりです。④と⑤は暫定的なものですが、ご確認ください。提出物の提出先はすべて下記の学会事務局となります。

### 《今後の主な日程》

- ① 個別報告「口頭報告」の申し込み締切り（報告申請票、報告要旨、報告論文の提出（電子メールまたは郵送））：12 月 19 日（水）17:00
- ② 個別報告「ポスター報告」の申し込み締切り（報告申請票、報告要旨、報告論文の提出（電子メールまたは郵送））：12 月 19 日（水）17:00
- ③ 「特別セッション」の申し込み締切り（報告申請票、報告要旨、報告論文の 3 点は全報告分、加えてセッション全体の要旨、希望所要時間の提出（電子メールまたは郵送））：12 月 19 日（水）17:00
- ④ 個別報告「口頭報告」の座長決定（2013 年 2 月中旬）
- ⑤ 学会事務局から座長予定者へ審査関係書類の送付（2013 年 2 月中旬）
- ⑥ プレゼンテーション用ファイルの提出期限（電子メールまたは郵送）：3 月 12 日（火）17:00
- ⑦ 「口頭報告」「ポスター報告」「特別セッション」：大会 2 日目、2013 年 3 月 30 日（土）



## ＜ホテル等宿泊先及び会場へのアクセスについて＞

### 1. ホテル等宿泊先について

東京都内の宿泊施設は多数ありますので、ホームページなどの検索により各自で手配してください。

### 2. 東京農業大学 世田谷キャンパスへのアクセスについて

#### ■山の手線

##### ◆ 渋谷駅下車（渋谷駅西口）

□バス＜渋谷駅～農大前＞（30分位）

小田急バス、東急バス 成城学園前駅西口行（渋 24）

小田急バス 調布駅南口行（渋 26）

東急バス 祖師ヶ谷大蔵駅行（渋 23）

#### ■小田急線

##### ◆ 経堂駅下車

南へ徒歩 15 分（経堂駅からの経路図を参照）

##### ◆ 千歳船橋駅下車

□バス＜千歳船橋駅～農大前＞（5分位）

渋谷駅行（渋 23）、等々力操車所行（等 11）、用賀駅行（用 01）

※東急田園都市線（用賀駅）、東急東横線（田園調布駅）から農大前に停車するバスもありますが、煩雑になるため省略します。



## 2013 年度日本農業経済学会大会 会場案内図

### 小田急線 経堂駅から会場（東京農業大学）までの経路図

※経堂駅を下車し、新宿方面からの場合、左側の「農大通り」方面に歩いていただきます。



## 東京農業大学 世田谷キャンパス 構内図

※経堂駅からは経堂門、バスの場合には正門からの入構となります。



## 問い合わせ先・提出先一覧

### ■ 東京農業大学大会に関する問い合わせ

- ・ 問い合わせ先：  
学会事務局（担当：武石） 電話：03-3492-2988 Fax：03-3492-2942 メール：aesj@aafs.or.jp  
大会実行委員会 東京農業大学国際食料情報学部食料環境経済学科事務室  
電話：03-5477-2359 Fax：03-5477-2621

### ■ 個別報告（口頭報告・ポスター報告）、特別セッションの問い合わせ・書類提出

- ・ 問い合わせ先：学会事務局（担当：武石）
- ・ 送信先 … aesj@aafs.or.jp
- ・ 郵送先 … 学会事務局  
〈送信・郵送期限：12月19日（水）17:00必着〉

### ■ プレゼンテーション用PDFファイルの問い合わせ・提出

- ・ 問い合わせ先：学会事務局（担当：武石）
- ・ プレゼンテーション用PDFファイルの送信先 … aesj@aafs.or.jp
- ・ プレゼンテーション用PDFファイルの郵送先 … 学会事務局  
〈送信・郵送期限：2013年3月12日（火）17:00必着。その後の差し替えはできません。〉

### ■ 入会手続き・所属や住所変更手続きの問い合わせ

- ・ 問い合わせ先：学会事務局（担当：藤本）
- ・ 入会手続き

学会ホームページの「入会申請フォーム」→「入力」→「送信」

入会申請フォームを学会事務局で受信後、事務局から入会関係の書類（会費振込用紙など）を郵送します。申請者から会費が納付されたことを事務局で確認した後に会員として登録されます（お急ぎの場合はご連絡ください）。

- ・ 所属や住所変更手続き

学会ホームページの「会員情報修正フォーム」→「修正」→「送信」

学会からの送付物などが遅滞なく届くように、変更された場合は上記の方法で速やかにお届けください。

#### 《学会事務局》

〒153-0064

東京都目黒区下目黒 3-9-13 目黒・炭やビル （財）農林統計協会内  
日本農業経済学会事務局

担当：武石 昭二三（学会全般）、藤本 美紀（入会・各種変更等）

電話：03-3492-2988、080-1091-8502（大会当日会場用）

Fax：03-3492-2942

メール：aesj@aafs.or.jp

ホームページ：http://www.aesjapan.or.jp

